

2026

むなかたリサーチパーク協議会

環境部会

環境部会新聞

環境部会は、むなかたリサーチパーク協議会の企業・大学・宗像市が集まり、地域の環境に関わる活動を進めています。草刈り、エコキャップ運動、そしてアスティ祭での花苗販売。今年度は、廃プラのリサイクルを体験できるワークショップも加わりました。

ワークショップ 「廃プラネームキーホルダー」実施へ

ペットボトルキャップから生まれたパーツで、好きな文字のキーホルダーをつくろう。

『廃プラリサイクル体験』

廃プラリサイクル工場
TSUYAZAKI BASE CAMP

環境部会：活動紹介

草刈り

リサーチパークをきれいに保つ草刈り

リサーチパーク内の草刈りは、年3回（8月・10月・翌5月）、宗像市シルバー人材センターに委託して行っています。今年度は8月に第1回を終え、10月に第2回を予定しています。



エコキャップ運動

集めたキャップは、地域で資源に

環境部会では、ペットボトルキャップの回収を続けています。今年度からは、宗像市が年数回、回収する仕組みになりました。

※アスティ祭の花苗販売会場にも「回収BOX」を置いています。ご家庭で余ったキャップをお持ちください。軽くすすいで乾かしていただくと、大変助かります。



アスティ祭 花苗販売

秋から春まで楽しめる花がそろいます！

環境部会では毎年、アスティ祭で季節の花苗を販売しています。今年も、ナフコ様のご協力で11種類の花苗をご用意しました。

1個60円、ガーデンシクラメンは200円です。

花ごとに、花言葉や育て方を書いたPOPを付けています。



品目(11種類)：パンジー、ビオラ、キンセンカ、ノースポール、アリッサム、シロタエギク、デージー、金魚草、ガザニア、ナadeshiko(テルスター)、ガーデンシクラメン

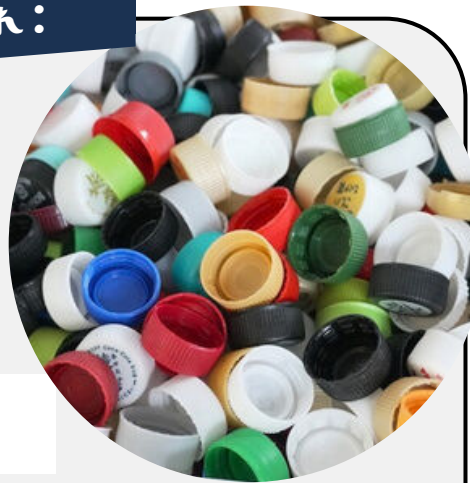


11/1 (日) アスティ祭 2026 **10:00～13:00** (なくなり次第終了)

step 1 : 廃プラリサイクルの流れ:

廃プラリサイクル工場TSUYAZAKI BASE CAMP

ペットボトルキャップが、 キーホルダーのパーツになるまで



①集める → 地域の小学校や図書館、病院などの施設で
ペットボトルキャップが回収されます。

②碎いて加工する → 洗浄 ⇒ 分別 ⇒ 粉碎してチップ化【リサイクル資源に!】



※11/1(日)ワークショップの当日は
自転車をこいでキャップを砕く
「粉碎体験」もできます。



③生まれ変わる → チップを高温で溶かして金型に流し込み、新しい「かたち」に。

※11/1(日)ワークショップ当日使うのは、
こうして工場で作られた成形済みパーツです。



step 2 : ワークショップ当日の流れ:

オリジナルネームキーホルダーが作れる！ 「廃プラネームキーホルダーづくり」

- ①パーツを選ぶ → 成形済みのパーツ（アルファベットやチャームなど）から、好きなものを選びます。
- ②組み合わせてつくる → 選んだパーツを組み合わせ、オリジナルのキーホルダーに。
- ③持ち帰る → できあがったキーホルダーは、そのまま持ち帰れます。



廃プラリサイクル工場
TSUYAZAKI BASE CAMP

40個
限定

11/1(日) 13:00~15:00 / 体験料200円

アスティ祭 2026 屋外(花苗販売と入れ替えで実施)

地域で資源を循環する

～廃プラの「地産地消」に取り組む、福津市の企業をご紹介します～

廃プラリサイクル工場TSUYAZAKI BASE CAMP（株式会社k i i x） 代表取締役 古川 隆邦

福岡県福津市で「廃プラ地産地消」を推し進めている廃プラリサイクル工場です。

国内唯一のPrecious Plastic機器製造店として、リサイクル機械・金型やアップサイクル品の製作・販売、ワークショップ、活動支援を行っています。ゴミを資源に変え、価値観を変えるキッカケづくり工場です。2023年には世界水泳選手権福岡大会の記念メダルを、ペットボトルキャップを使って製作しました。

このたび、アスティ祭でのワークショップ実施が決まりました。